

ロザナむ詩

コスモス

阪田寛夫

秋のさくら コスモス

蝶々がまちがえて

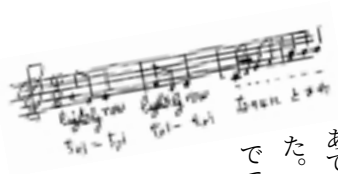
こんどは

菜の花をさがしました

蝶々 蝶々

おいそぎなさい

もう十月よ



坂田寛夫 小説家・詩人

コスモスは別名 秋桜。

菜のはにあいたら桜にとまれ、の「蝶々」の歌は、日本のわらべうたから作られた歌詞を、明治十年頃アメリカ留学中の伊沢修二が、のちのお雇外国人教師メイソンから示されたポートソングのフシに、あてはめて作り出した。その歌のお蔭でできた詩です。